Ciclopirox Olamine クリームによる 皮膚カンジダ症の治療成績

市立小樽病院皮膚科 (医長: 嶋崎 匡博士)

嶋 崎 匡

Clinical Evaluation of Ciclopirox Olamine on Superficial Candidiasis

Tadashi SHIMAZAKI

Division of Dermatology, Otaru City Hospital, Otaru, Japan
(Chief: Dr. T. Shimazaki)

治 験 方 法

Open study により下記のような手順で行なつた。

1) 対象疾患: 当科外来を訪れた皮膚カンジダ症の患者からつぎの25例を選択した。

乳児寄生菌性紅斑	10例
カンジダ性間擦疹	7
指趾間癰爛	5
その他	3

2) 被験薬剤: 1% Ciclopirox olamine (Batrafen®) クリーム

3) 使用方法: Ciclopirox olamine クリームを患者に1日2〜3回塗布させた。基礎疾患のある患者はそれぞれの科で基礎疾患にたいする治療が行なわれているが皮膚科の併用療法はまったく用いなかった。ただ皮膚カンジダ症は湿潤部、発汗部に生じやすいところから、病巣の乾燥を計るよう指導を行なつた。

4) 経過観察, 効果判定: 記録, 効果の判定は前項の白癬の場合に準じて行なつた。

成 績

使用した25例について治療経過, 効果判定, 副作用などを第1表に一括して表示した。

1) 治療成績:

① 乳児寄生菌性紅斑; 4例は全治, 3例はいちじるしい効果をみたが, 2例は若干の効果があつたのみであり, 1例は刺激症状を呈して使用を中止した。

② カンジダ性間擦疹; 腋窩, 乳房下, 外陰部などの間擦疹7例に外用した。2例は治癒し, 3例に著明の, 2例に若干の効果が認められた。

③ 指趾間癰爛; 全治1例, 著効2例, やや効2例であつた。

④ その他; 汎発型あるいは生毛部型ともいふべき非間擦部に膿疱, 鱗屑性病巣などを作る型をここに一括した。3例に使用し, 治癒, 著効, やや効それぞれ1例ずつであつた。

以上25例をまとめると治癒8例, 著明改善9例, やや改善7例, 悪化1例であり, 治癒, 著明改善を有効とすると有効率は70%であつた(第2表)。

2) 副作用: 乳児寄生菌性紅斑の1例に刺激症状と考えられる発赤, 癰爛の悪化が生じて外用を中止したのみであつた。

か ん が え

前報¹⁾では ciclopirox olamine クリームの股部白癬にたいする治療成績をのべたが, 本報では皮膚カンジダ症にたいする薬効を open study で行なつた結果をのべた。各種の皮膚カンジダ症に本剤を外用して治癒8例, 著明改善9例, やや改善7例, 悪化1例で約7割に有効の成績をあげた。しかしこの有効率をほかの報告, あるいはほかの薬剤の報告の結果と比較することは, 患者にかんする各種の条件が相異しているのももちろん意味がない。したがってカンジダ症についても clotrimazole クリームなどを基準として二重盲検試験が必要と考えるものである。

ま と め

1) 皮膚カンジダ症の25例に Ciclopirox olamine (Batrafen®) クリームの open study による治療を行なつた。

第 1 表 症 例 一 覧

項目 No	性・年令	診 断	部 位	使用 期間	臨 床 症 状							効 果	そ の 他	
					掻痒	発赤	鱗屑	丘疹	小水泡	浸軟				
1	F 4月	乳児寄生 菌性紅斑	陰股, 腋 窩, 頸	15日	前後		++	++	++	+	+	+	著	刺激
2	F 1	"	陰股, 頸	20	前後		++	++	++		++	+	治	
3	F 5	"	陰股	16	前後		++	++	++				治	
4	M 5	"	陰股, 腋 窩	19	前後		++	++	++		++	+	や	
5	F 3	"	陰股, 頸	15	前後		++	++	++		++	+	著	
6	M 6	"	陰股	7	前後		++	++	++				治	
7	M 1	"	陰股	3	前後		++	++	++		+		悪	
8	F 3	"	陰股, 頸, 腋窩	20	前後		++	++	++	+			著	
9	M 4	"	陰股, 頸	19	前後		++	++	++		++		や	
10	M 8	"	陰股	10	前後		++	++	++				治	
11	F 41才	カンジダ 性間擦疹	腋 窩	14	前後		+	+	+	+			治	
12	M 50	"	"	28	前後	++	++	++	++				や	
13	M 70	"	"	15	前後	++	++	++	++		+		著	
14	F 64	"	乳 房 下	24	前後	++	++	++	++		++		著	
15	F 71	"	"	15	前後	++	++	++	++		++		著	
16	M 70	"	陰 部	17	前後	++	++	++	++				治	
17	F 39	"	"	16	前後	++	++	++	++				や	
18	M 38	指趾間糜 爛	右第4趾 間	13	前後	++	++	++			++		治	
19	M 22	"	両第3, 4 趾間	16	前後	++	++	++			++		著	
20	M 24	"	右第3, 4 趾間	14	前後	++	++	++			++		著	
21	F 19	"	両第4趾 間	16	前後	++	++	++					や	
22	F 40	"	"	26	前後	++	++				++		や	若干の刺激症状 外用はつづけた
23	M 62	膿 疱 型	背	18	前後	++	++	++	++	++			著	
24	M 70	"	"	15	前後		++	++	++	++			や	
25	M 19	鱗屑を伴 う紅斑	顔	12	前後	++	++	++		++			治	

治：治癒

著：著明改善

や：やや改善

不：不変

悪：悪化

第2表 臨床効果のまとめ

病名	治癒	著明改善	やや改善	不変	悪化	計
乳児寄生菌性紅斑	4	3	2	0	1	10
カンジダ性間擦疹	2	3	2	0	0	7
指趾間癬	1	2	2	0	0	5
その他の	1	1	1	0	0	3
計	8	9	7	0	1	25

8例に治癒, 9例に著明な改善をみ, 7例に若干の効果を見た。

2) 2例に局所副作用が生じたが, 悪化して使用中止したものは1例のみであった。

文 献

1) 嶋崎 匡: 西日皮膚, **39**: 351, 1978.

(昭和53年1月10日 受付・特掲)

別刷請求先: 〒047 小樽市若松1-2-1
市立小樽病院皮膚科
嶋崎 匡

新 刊 紹 介

Progress in Allergy, Vol. 23

P. Kallós, B. H. Waksman, A. L. de Weck 編

175×245 mm, 366 ページ, 図 32, 表 16,

S. Karger 刊, 1977 年, 23,680 円

免疫学, アレルギー学領域の新しい知見についての総説を出している本シリーズの第23巻で, 4つのテーマを取扱っている。

(1) リンパ球の表面構造と変化; リンパ球の表面の組織適合抗原その他の抗原マーカーやレセプターの構成と反応様式とくに焦点をあわせている。

(2) 移植免疫抑制の新工夫; T cell の特殊なレセプター (idiotype, alloantigen と反応する) を利用して移植免疫を抑制する方法をのべている。

(3) 好塩基球・マスト細胞・血管作用アミン; 好塩

基球やマスト細胞, それから放出される血管作用性のアミン類について, 皮膚反応との関連性を中心にまとめている。

(4) 妊娠にともなう免疫異常疾患; 妊娠時の免疫的な特殊性によつて生ずる疾患をあげ, 解説を加えている。

いずれも詳細に網羅的にのべられているが, 写真・図解は非常に少なく, あまり読みやすいとはいえない。